

# 前橋 青春の会 会報

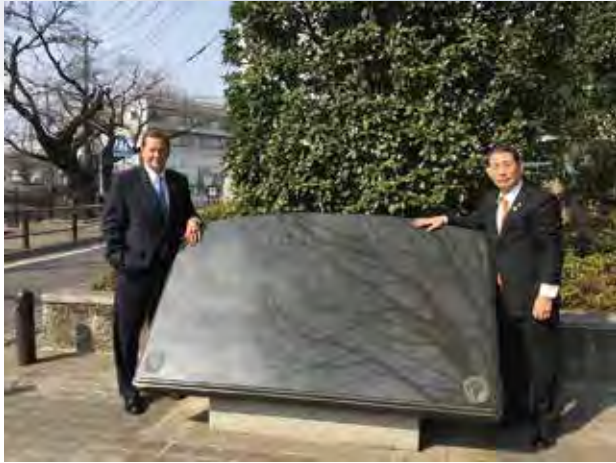
Vol.13

The Youth Society of Maebashi

2016年8月26日発行

在バーミングハム名誉領事  
マーク・ジャクソン氏来橋

二〇一六年二月二十三日、友好親善都市アメリカ・バーミングハムの日本名誉領事に任命されたマーク・ジャクソン氏が初来日され、前橋を訪問されました。マークさんは友好親善都市十五周年、茶室『燈心庵』建立二十周年において姉妹都市委員会の代表をしておられ、当市からの訪問団もお世話になった方です。市の関係者と、青春の会から田子会長と峰稟事務局長が高崎駅でマークさんを出迎え、前橋市内をご案内いたしました。文学館の前の『青春の碑』にご案内した時には、両市の花が前面に描かれ、サムエル・ウルマンの青春の詩が石に刻まれているのを見て大変感激されました。



青春の碑を挟んでマーク名誉領事と田子会長

両市が友好親善都市となる前に、田子会長と国際交流協会の働きかけで前橋の詩人萩原朔太郎記念館とサムエル・ウルマン記念館が友好記念館となり、バーミングハム市では萩原朔太郎展を、前橋では日本で初めてサムエル・ウルマン展を開催し、両展とも大変盛況を得ました。前橋でのサムエル・ウルマン展と青春の碑の除幕式にはバーミングハム市から当時の市長リチャード・アーリントン氏が来橋し、萩原市長と対談して頂き、茶室を始めとする交流、両市を代表する詩人展や浮世絵展、そして両市の民間交流が始まりました。前橋は国際交流協会、バーミングハム市は姉妹都市委員会の皆さんのご協力により一九九八年十月に当時の前橋市萩原市長が訪問団を結成してバーミングハム市を訪問し、リチャード・アーリントン市長と正式に友好親善都市提携の調印を行いました。そういう経緯ですので、このサムエル・ウルマンの青春の碑は両市の友好親善の記念碑ともいえると思います。



1998年当時東洋紡績名誉会長の宇野さんとの記念撮影

## 青春

サムエル・ウルマン



青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てての冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。人は信念と共に若く疑惑と共に老ゆる、人は自信と共に若く恐怖と共に老ゆる、希望ある限り若く失望と共に老い朽ちる。大地より、神より、人より、美と喜悅、勇氣と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り、人の若さは失われなない。これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを堅くとぎすに至れば、この時にこそ人は全く老いて、神の憐れみを乞うる他はなくなる。

邦訳 岡田 義夫

## 市長表敬訪問

市長表敬訪問はマーク名誉領事と市の文化国際化そして当会の田子会長、蜂巣事務局長が随行して山本市長に面談いたしました。先ず市長からマーク氏に歓迎の言葉が述べられ、マーク氏からは、後二年で二十周年を迎えるため今後とも更なる交流を深めることは勿論ですが、お互いの市の発展のため得意とする産業について意見交換を行い、今後の両市の産業発展につながる交流をお願いしたいと提案があり、山本市長も同感ですと応えられ、早々に市の担当者呼び意見交換をしてくれました。



市長室にて青春の詩を掲げるマーク名誉領事と田子会長

市長応接の机の上にはサムエル・ウルマンの英文と日本語の詩が用意されており、日本では戦後産業の発展のために松下幸之助先生を始めソニーの森田会長、元関西経財連会長の宇野収氏等はウルマンの詩を座右の銘として産業の発展に繋げてきたとも書籍に記しておられます。

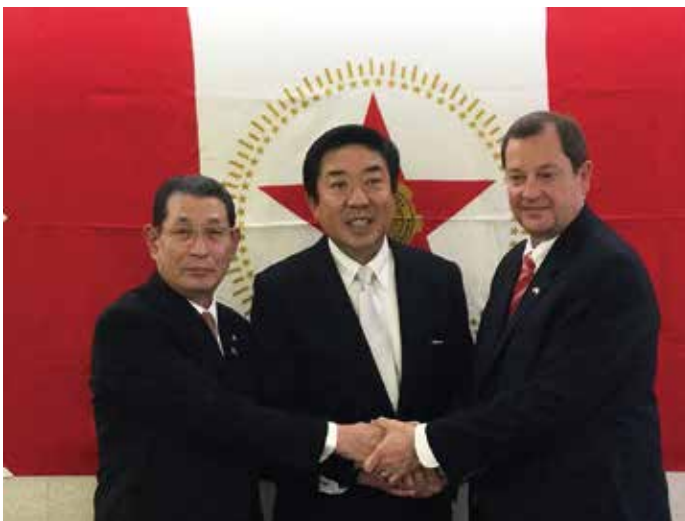
そして当時東洋紡績株式会社名誉会長の宇野収さんは、前橋で開催されたサムエル・ウルマン展に来訪頂き、ことのほかお喜びになり、青春の碑の前で記念撮影をして頂いたのを思い出しました。(二ページ目の宇野さんとの記念撮影参照)



山本市長から銘酒『赤城山』をマーク名誉領事にプレゼント

この青春の詩は今の日本の少子高齢化社会の現状に大変勇気と情熱、希望を与えてくれる詩であると改めて感銘致しております。今後の両市の産業の発展、そして高齢化社会に少しでも、青春の会としてお役に立ちたいと改めて感じた次第です。

そしてマークさんへのお土産に前橋の銘酒である赤城山の桐箱に山本市長が毛筆にてサインしてプレゼントされました。マークさんからは『パーミングハムのベル市長と共にお酒を戴きます。山本市長もぜひパーミングハムに来て頂きたい。』と三人でさらなる友好を誓い握手を交しました。



マーク名誉領事と山本市長、当会田子会長

## The Youth Society of Maebashi



マーク名誉領事を囲んで細野副市長、金子会長等と

そして午後六時から、国際交流主催のウェルカムパーティーが前橋テルサで開催され、国際交流協会の金子会長を始めとする友好親善十五周年に参加したメンバーが細野副市長以下全員出席して頂き金子会長の歓迎の挨拶細野副市長の十五周年訪問時の御礼と今回の訪問に対して歓迎、両市の益々の友好を誓いご挨拶、そしてマーク氏が今回初めて前橋を訪問し、前橋は大変素晴らしい市でありバーミングハム市と同じ自然が豊かな街だとお話し頂きました。そしてパーティーが盛大にそして良い雰囲気で開催され当会の田子会長が締めのご挨拶をし今後お互いに更なる友好を深め、両市の発展を祈りましょうと木遣りで集いを締めくくりました。



ウェルカムパーティー出席者全員での記念撮影



焼き鳥屋さんでの懇親会

終了後、マーク氏が日本の焼き鳥屋さんに行ってみようとのことで、青春の会のメンバーと市内の焼き鳥屋さんで更に交流を深めました。



マーク名誉領事と当会田子会長

# The Youth Society of Maebashi



前橋テルサでのフェアウェルパーティー会場にて記念撮影

第三回前橋・渋川シティ  
マラソン

第三回前橋・渋川シティマラソンが四月十七日に開催され、バーミングハム市から招待選手二名、コーチ一名計三名の方々に参加していただきました。

国際交流主催のフェアウェルパーティーが開催され当会会長が国際交流の理事、バーミングハム市の渉外代表ということもあり、青春の会としてパーティーに参加し、遠いところ友好親善都市のバーミングハム市から参加して頂いた皆さんをいつも国際交流と共に青春の会としても歓迎、おもてなしをさせて頂いております。なぜならばバーミングハム市の大勢の市民の中から推薦され選ばれた市民の方々を行政がサポートして参加して頂いていると聞いております。本当に願ってもない市民レベルの交流イベントだと思っております。



選手団に青春の会から記念品を贈呈



選手団の皆さんと金子会長、倉嶋副市長、田子会長

今年も素晴らしい方々に参加して頂きました。選手として、クリス・シェンカーさん、ピーター・ウエ・ストさん、コーチとしてターミ・シュツアートさんが参加して頂き国際交流の金子会長以下役員、倉嶋副市長、市の文化スポーツ観光部、文化国際化、青春の会の方々も参加して大変素晴らしい市民レベルの交流が生まれました。参加して頂いたバーミングハム市の選手、コーチから『前橋市の大変素晴らしい景色と大変素晴らしいおもてなしを受け、言葉で表せないほどの感動、感激を致しました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。前橋市は素晴らしい街であり、素晴らしい市民の方々ですと伝えます。』とご挨拶。とても素晴らしい集いでありました。

## 入会の案内

前橋青春の会とは・・・

サムエル・ウルマンの詩「青春」や優れた先人たちの残した教え・格言に学び、自己啓発に努め、会員相互の親睦を図ると共に、サムエル・ウルマンの活動の地、バーミングハム市民との民間交流の推進を目的とした会です。

前橋青春の会では、随時賛同者の方を募集しております。お問い合わせ、申込書のご請求は事務局までどうぞ。

〒371-0847 前橋市大友町3-12-9東峰ビル  
前橋青春の会事務局 担当 遠藤

TEL. 027-254-5239 FAX. 027-254-5259

E-mail office@youth-society.org  
WEBサイト http://youth-society.org/

